OUKA
The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	『大阪大学日本語日本文化教育センター 授業研究』第9号 刊行にあたって
Author(s)	
Citation	大阪大学日本語日本文化教育センター授業研究. 2011, 9
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/21923
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

『大阪大学日本語日本文化教育センター　授業研究』

第9号 刊行にあたって

本センターは1954年に留学生別科として設立され、1991年に留学生日本語教育センターへと改組、そして、予備教育開始50周年と本学の国立大学法人化を契機として、2005年4月に教育と研究のいっそうの充実を目指し、日本語日本文化教育センターへと改称いたしました。

これまで、研究留学生、学部留学生、教員研修留学生、日本語・日本文化研修留学生などさまざまな留学生を多数受け入れ、その間、留学生の多様なニーズに応えられるよう教育カリキュラムの工夫・改善を重ねてまいりました。よりよいカリキュラムの開発には、日頃の教育の中から生み出されてきた方法論や教材論を共有し、蓄積することが肝要であると考え、本センターでは2003年3月に、専任教員、非常勤講師がともに自由に日頃の成果を発表できる場として本誌の創刊号を刊行いたしました。また、このほかに、教育の質の向上を目指して、さまざまなFD研修活動を行っています。

率直に申して、教員は一般に、自らの授業については当然よく知っているものの、他の教員の授業で何が行われているか、殆ど知らないのではないでしょうか。そして、内心興味を持ちつつも、日々の多忙に取り紛れ、なかなか質問する機会も持てないのではないかと思います。しかしそのようなことを知ることは、実は自らの授業内容の充実にとっても、きわめて意義があるのではないかと思います。本誌がそのような場・そのような機会として活用されるならば、編集を担当するものとして喜びに堪えません。

2011年3月

『大阪大学日本語日本文化教育センター　授業研究』
編集委員会